

のぞみ会定例会

6月定例会は心理カウンセラー2名に参加していただき、安心や幸せを育てるコミュニケーションについて学びました。自分にイライラ感があると相手に対して許容度が低くなります。自分が楽しくなることをして、自分を励ますことも必要です。家族が幸福感をもつと相手にも伝わっていくと思います。まずは完璧を目指さずに小さなことから積み上げていきましょう。
上手くいかなくても反省しすぎないことも大切です。

【活動報告】

- 6/11 (土) 定例会 13名参加
- 6/15 (水) 福祉法人地域精神保健福祉会 評議委員会
- 6/25 (土) はだの男女共同社会 フォーラム 2022
- 6/26 (日) 役員会
- 6/29 (水) 福祉法人 成和会 評議委員会
- 6/30 (木) 社会福祉協議会 第1回団体部会

【例会報告】

*6月定例会 第1回 学習会「コミュニケーションで伝える傾向、伝えない傾向」

- ・感想・意見
- ・進捗管理について
- ・第2回は9月10日(土)定例会を予定。

*のぞみ会会報第2号 8月13日(土)発行予定

*福祉有償運送(前回チラシを配布)…利用した会員の感想

- ・一般のタクシーより当事者の緊張が少なく、親切に感じた。
- ・ドライバーを指定できない。
- ・料金は一般よりも若干安い。

*じんかれん

- ・県会議員とのヒアリング 自民党・公明党・民主フォーラム・共産党
神奈川県副知事…海老名 2πr・じんかれん

- ・昨年度神奈川県医療労働組合連合会から出された「精神保健福祉の改善に関わる陳情」
県下で採択されたのは三市（逗子、南足柄、座間）にとどまる。
- ・身体拘束に関する新聞記事を回覧。
- ・県内自治体の医療費助成の現状 秦野市は1級通院・入院に対して補助
- ・みんなねっとから「交通費助成が近畿日本鉄道でも実施される」。
- ・ミーアの贈り物 入院セット無料提供（じんかれんニュースに掲載）

*バス旅行 予定 11月30日（水） ゆったりとした行程で

- ・10月定例会で行程表を配付予定

*役員活動費について 合計 3万5千円 支出

*社協 団体部会

- ・補助金の見直し のぞみ会 23,000円→50,000円（7月中に振り込まれる）
- ・はだのエンディング応援事業について回覧…利用条件がある。
- ・フードドライブ 今年度は地域活動の中で必要な人に配布し、日常支援に繋げていく
食品の受け入れ 7月11日（月）12日（火）10時から12時、13時から15時
保健福祉センター 1F ボランティア室
現金の寄付…社協窓口まで
- ・日常生活自立支援として「きゃっち」がある。
- ・認知症などで判断力が落ちた場合は成年後見制度が利用できる。

*のぞみ会図書 貸出記録ノートに書き込めば自由に借りられます

- ・購入図書 「収容所列島」
- ・のぞみ会便り 1986年から1993年まで

*神奈川県公衆衛生協会秦野伊勢原支部 のぞみ会として加入 会費5千円

- ・支部長表彰 公衆衛生思想の普及向上並びに公衆衛生地区活動等に顕著な功績 5年以上
今年度は1名を推薦した。

*6月こんぼ亭「親亡きあと」の課題 渡部伸氏

課題①お金で困らないための準備 一度に大金が手に入らないようにする。

- ・お金をどうやって残すのか…遺言や信託の活用

福祉型（家族）信託…子供に定期的にお金を渡すことのできる仕組み。親が財産について信託契約を結び、自分が亡くなった後も子供のために給付してもらう。子どもが亡くなった後の残った財産の行き先まで指定できる。ある程度判断能力があり、自分でお金が使える人に。

信託制度を利用した商品…生命保険信託・遺言代用信託・特定贈与信託

- ・お金をどうやって管理するのか…成年後見制度と日常生活自立支援事業の活用
子供の生活能力に合わせて組み合わせる

課題②生活の場

課題③日常生活のフォロー…支援者や地域との結びつきが大切

*その他

- ・7月23日(土)「多様性社会を目指して～LGBTQを知り、多様性について考える～」
櫻木彩人氏 13:30～15:00 本町公民館 要申込
- ・大根工芸会報「ぼけっと」回覧。
- ・7月29日(金) 秦野市機関相談支援センター主催研修会
「精神疾患の理解と支援」 13:30～16:00 保健福祉センター 要申込
- ・8月6日(土) ボイスピア はだの ZOOM 要申込
「病気のこと、人間関係のこと」 14:00～16:00

【予定】

7/31 (日) 役員会	福祉センター	1時半～
8/13 (土) 定例会	ぱれっとはだの	1時半～



小 耳 話

「スッタ、モンダ、コロнда、ブツケタ…」

じんかれん事務所の IT 化に奮闘する家族会会員の言葉。

PC を買い替え、古い機器をアップデート、周辺機器を揃え、関係機関と連絡を取り、配信ができるようになるまで、大変な骨折りがあったと思います。

でもこの言葉を聞いていると、苦勞を楽しんでいるような前向きな気持ちになれますね。

